

共生社会被災者支援の会 事務局会議

議事録

日 時 2011年12月3日(土) 午後3時から

場 所 116教室(北新地駅真上、大阪駅前第二ビル6階)

参加者 柏木宏(教員)、阪野修、坂口一美、尾崎力、藤井伸二、前川武志、新家潤子、半田壺、藤原望、後藤陽子

【議題】

《報告事項》

1. 11月の第2回教育ツアー実施報告
2. 会計報告
3. 来年度の大阪府への申請について
4. 気仙沼現地リエゾンの人事について
5. ニュースレターなどの広報誌の作成に関して

《審議事項》

6. ひらかたNPOセンターからの依頼について
7. 12月の高校生ボランティアツアー実施について
8. ビデオ上映会の開催について
9. リエゾン担当の雇用条件について
10. 来年3月の復興支援フォーラムについて

【議事詳細】

《報告事項》

1. 9月の第1回教育ツアー実施報告(阪野氏)

9月に引き続き、第2回目の気仙沼、大島、平泉をまわる教育ツアーを実施。大阪からバスで移動したグループ(41名)と埼玉からのグループ(8名)で計49名が参加した。今回は郵便局関係者(10名)のほか観光関連の専門学校関係者を含め(16名)の参加が中心であったため、現地の郵便局の方々との交流や休暇村の支配人に講演してもらうなどのイベントも取り入れた。郵便局関係者の交流は参加者自身も阪神淡路大震災の経験をもつため同じ職種のなかで情報共有でき、専門学校関係者にとっても震災時におけるホテルや宿泊施設の地域での役割について学ぶことができたと思われる。

仮設住宅でのボランティアについては2回目ということもあり高齢者が震災時の体験を語ってくれる機会が増えたが、仮設住宅以外のボランティア活動に関してはその地区の方針として控えて欲しいとの要望があった。

2. 会計報告(前川氏)

11月のツアーについて、補助金1,020,000と参加費1,240,400を合わせて2,260,400

円の収入のうち、バス代 593,132 円、宿泊費 883,650 円その他、謝金や諸経費を合わせ、1,681,782 円の支出があった。

3. 来年度の大阪府への補助金申請について（柏木先生）

今回は 2 件の申請があったが、府からの連絡によると、当会の方が評価点が高い。このため、おそらく補助金を受けられることになると思う。但し、金額については今年度と同様に削減などの調整の申し出がされると思われる。

4. 気仙沼現地リエゾンの人事について（前川氏）

現地のリエゾンで活動していただく方の紹介を依頼していたところ、A さんを紹介いただき面談した。今後リエゾンの現地スタッフとして活動していただくため、必要書類などの準備を進める。雇用条件等は審議事項へ

5. ニュースレターなどの広報誌の作成に関して（柏木先生）

ニュースレターについては 9 月の教育ツアーと 11 月 2 日の男山社長の来阪を中心に作成する予定で、阪野氏に執筆をお願いしている。その他『共生社会研究』からも記事掲載の依頼があり藤井氏らに執筆をお願いしている。

《審議事項》

6. ひらかた NPO センターからの依頼について

ひらかた NPO センターより自転車 10 台を現地に送ろうと集めたのは良いが、送料が高つくため当会の予算で賄えないかという相談があった。

当会では支援物資の送料を計上しているが 1 台 2 万円という高額では現地で購入したほうが安価ということになる。

今月実施する高校生ボランティアツアーのバスに乗せることができればそのほうが良いなどの意見がでた。

今後については、阪野さんがひらかた NPO センターと連絡を取って対応していくことになった。

7. 12 月の高校生ボランティアツアー実施について

12 月 22 日～26 日に青少年プロジェクトの事業として、がんばろうつばさネットワークが中心になり、ボランティアバスを派遣する予定であるが、そのツアーに先立って募金活動も 12 月 14・15・16・19・20・22 日の 6 日間行なう。募金のためのボランティアは 120 名ほど集まっているが、ボランティアの参加人数についてはクリスマスの時期もあり芳しくない。もう 20 名は確保したいところである。なお、以下のような意見がでた。

他のルートで募集するなどの手立てを講じる。

気仙沼高校との交流を含めるかどうかについては祝日と重なることもあり、学校での

交流は今回は控える。

宿泊に関しては地震の再発に備えて高台にあるところのほうが良い。

瓦礫処理については大島のほうは残っているが気仙沼市のほうはゼネコンが仕事として行なっているので、ボランティア活動の内容については検討したほうが良い。

餅つきをすることになっているが、仮設住宅は高齢者が多いので餅を喉に詰めるといった危険に備えるほうが良い。

8. ビデオ上映会の開催について（坂口氏）

三国ヶ丘高校の滝本君が撮影したビデオの上映会を 12 月 18 日に大阪駅前第二ビル 5 階第 1 研修室で実施する予定である。滝本君以外にファイト新聞（壁新聞）を作成している気仙沼の小学生に発表してもらおう予定であったが今回参加は無理ということとなったが、大阪経済大学生ほか何人かの協力を得る予定である。他にも大阪市の教育委員である矢野先生にも協力を要請する予定である。

それとは別に石巻の教育長のほうでドキュメンタリー映画を制作されており、その広報活動をお願いされている。

滝本君のビデオが 45 分もあり短縮してもらう必要がある。

チラシについては他の大学関係のチラシと一緒に郵送したり、あるいは PDF ファイルにて送信する。

9. リエゾン担当の雇用条件について（坂口氏）

リエゾンの雇用条件については、現地の相場などを考慮して時給についてはご本人には 1,000 円とお伝えしているが、雇用契約書など書類一式を送って欲しい。

具体的な業務内容などを盛り込んだ雇用契約書は前川さんが作成することになった。

10. 来年 3 月の復興支援フォーラムなどについて（柏木先生、坂口氏）

2 月 13 日に青少年プロジェクトで気仙沼教育委員会課長補佐 伊東毅浩氏が来阪、シンポジウムを開催する。この際、大阪市の教育委員の矢野先生にも協力を得たい。

積水ハウスの広瀬氏より 3 月 10 日と 11 日に大阪ボランティア協会主催のフォーラムがあるので参加要請の可能性が打診された。

SNG プロジェクトで阿部勝造氏（特別養護老人ホーム春圃苑）の来阪計画を進めてきたが、時間が余りないので、復興支援フォーラムの枠で実施したほうが良いということになった。

3 月 11 日は気仙沼のほうでイベントが開催される可能性が高いため、当会のフォーラムは 3 月 23 日（金）・24 日（土）に開催したほうが良いということになった。

以上、文責 後藤